

44 弱毒ウイルス利用によるキュウリ急性萎凋症の防除

福島県農業試験場病理昆虫部・野菜部・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 野菜－キュウリー病虫害防除 分類コード 03－01－23000000

2 担当者 平子喜一・今泉光代・藤田祐子

3 要 旨

(1) 弱毒ウイルス(ZY95)は、急性萎凋症に対して防除効果を示しモザイク果の発生も抑制した。しかし、弱毒ウイルス接種キュウリ株は、生育後半になるとすべてモザイク症状を呈し、黄斑モザイクとなる株が多かった。

(2) 弱毒ウイルスを接種した区では、株あたり収穫果数は減少した。減収程度は、南極1号で約1割程度、パイロット2号で2割程度であった。側枝数と側枝発生率では、主枝摘心時には弱毒ウイルス接種の有無による差は見られなかったが、その後弱毒ウイルス接種を行った区で側枝数・側枝発生率とも減少した。

以上の結果から、キュウリに対する弱毒ウイルス(ZY95)は、急性萎凋症の発生が大きく問題となる圃場でのみ使用することが望ましい。